

惑星誕生の謎をとくカギを求めて、日本の探査衛星“はやぶさ”が3億キロのかなたの小惑星“イトカワ”から岩石を採取。今、地球をめざして孤独な旅を……

YUTOROGI SCIENCE THEATER

# ゆとろぎ サイエンス シアター

<映画と講演>

しょうわくせい たんさき  
小惑星探査機  
ものがたり  
はやぶさの物語

□CG映画『祈り—小惑星探査機はやぶさの物語』

□記録映画『大いなる挑戦』

講演 吉川 真先生

(JAXA はやぶさチーム)

2/27

金

開場 18:30

開演 19:00

ゆとろぎ大ホール

(先着 850名・入場無料)

※未就学児童は入場できません。一時保育(有料・定員15名・要予約)があります。希望者はゆとろぎへお申込みください。

<特別展示(入場無料)>

惑星探査機 はやぶさ (2分の1  
スケール)

小惑星 “イトカワ” (1000分の1  
スケール)

写真資料など

2月21日~27日

ゆとろぎ1階エントランスホール

協力: JAXA (独立行政法人 宇宙航空研究開発機構)

主催: 羽村市教育委員会

<問合せ>生涯学習センターゆとろぎ ☎042-570-0707

YUTOROGI SCIENCE THEATER

ゆとろぎサイエンスシアター

えいが こうえん てんじ  
＜映画と講演と展示＞

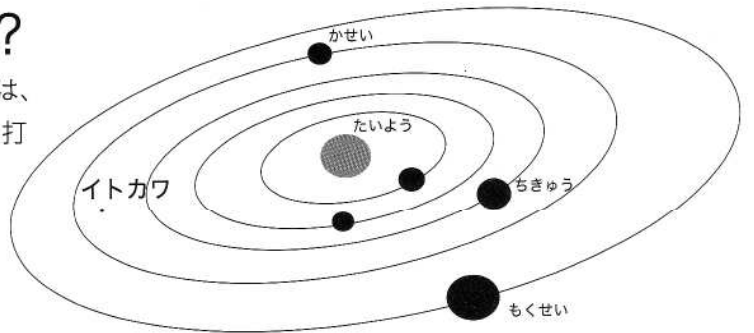
しょうわくせい たんさき  
**小惑星探査機**  
ものがたり  
**はやぶさの物語**

私たちの地球はいつ、どのようにして誕生し、生命はいつ、どのようにして誕生したのか。どうやら、その謎を解くカギは宇宙にあるようだ。惑星の“石”や“土”を調べることで、太陽系や宇宙がどのようにして誕生したのかを知ることができるらしい。そして、生命誕生の謎も。そこで「はやぶさプロジェクト」が始まった。小惑星に探査機を軟着陸させてサンプルを採集してこよう！ だが、そこには数々の大きな困難が待ち構えていた……

「はやぶさプロジェクト」について、JAXA の吉川真博士がわかりやすく解説してくれる。そして、小惑星探査機“はやぶさ”と小惑星“イトカワ”の模型や写真資料も特別公開。

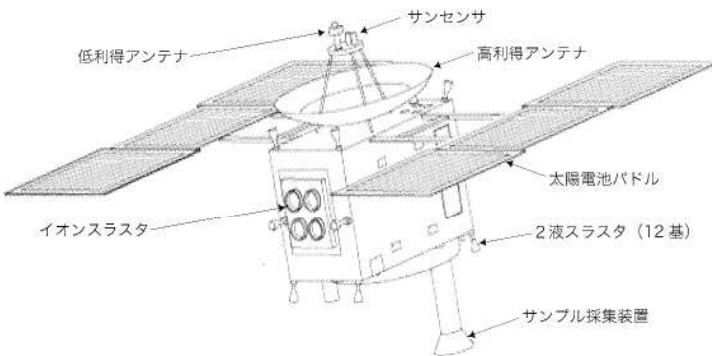
### 「はやぶさプロジェクト」って？

小惑星に探査機を送り込みサンプルを採集するには、サンプルを採集する技術だけでなく、ロケットを打ち上げる技術や探査機を正確にコントロールする技術が必要。「はやぶさプロジェクト」はこうした最先端の技術を研究する大実験プロジェクトなのだ。



### 小惑星探査機“はやぶさ”って？

太陽電池パドルを広げても幅はわずか5mほど、本体は約1m四方、重さ約500kg。その小さな体の中にはハイテク技術がびっしりとつまっている。キセノンガスをイオン粒子化して推進力とする「イオンエンジン」を搭載。太陽電池で発電した電力をエネルギーとする、軽い質量で大きな加速を得ることができるスグレものだ。



### 小惑星“イトカワ”って？

1998年に小さな惑星が発見され、「1998SF36」という符号がつけられた。大きさは500mほどで、海の動物のラッコに似た形をしている。地球の軌道と交差する軌道をもつことがわかり、2001年に「25143」という番号がつけられた。「イトカワ」の名前は、日本で最初に打ち上げられたロケット、「ペンシルロケット」を開発した糸川英夫博士にちなんで名付けられた。

